

令和2年度 事業報告

I 全体概要

我が国の高齢者人口の増加傾向が続く中、行政において一億総活躍社会の実現に向けた、全世代型社会保障の基盤強化の取り組みが進められていることを受け、老人クラブでは、「魅力ある老人クラブづくり」に取り組み、引き続き会員増強を図り、また健康長寿の延伸を目指すとともに、介護予防・日常生活支援総合事業への取り組み等を広げ、地域の安全・安心づくりに貢献することとしていたところでした。

しかしながら、全世界的に蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響により、一年に亘りその活動が大きく制限されるという過去に例のない大変厳しい状況となりました。

このような中であっても、それぞれの単位老人クラブ、市町村及び県の老人クラブ連合会においては、できることやるべきことを模索し、新しい生活様式の中で様々な工夫をしながら、感染防止に配慮した老人クラブ活動に取り組んでまいりました。

以下、その概要について報告します。

II 公益事業

1 健康づくり・介護予防活動の推進（公1）

（1）高齢者の体力測定普及活動の推進

高齢者の体力測定は、「自らの体力を知り、自分にあった適切な運動を生活の中に取り入れていく」ことで自立できる体力を維持しようとするもので、選定した老連等にモデル的に取り組んでもらうことにしていますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止しました。

（2）健康ウォーキング支援事業の推進

健康ウォーキングの正しい理解のために、選定した老連等に講習会・実技研修に取り組んでもらい、県内各地で事業が展開できるように進めることにしていますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止しました。

※（1）及び（2）の代替として、健康づくり等研修会参加者に配付するため、健康づくりの重要性を訴えるPR用品（タオル）を作成しました。

（3）健康づくり指導者育成事業

① 健康・生きがいづくり支援事業推進委員会

医師、歯科医師、栄養士、健康運動指導士、行政等の外部委員を中心とした6名の委員による推進委員会を2回開催し、健康・生きがいづくりの取り組みに関して意見等を聴くことにしていますが、第2回の委員会は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止しました。

6月2日	第1回：年間の事業計画及び取組みについて協議
令和3年2月9日	第2回：新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止

② ブロック別「健康づくり講演会」

こころとからだの健康づくりに関して、専門的な立場からの講演（歯科医師、大学講師、薬剤師、健康運動指導士）と各市町村老連や単老で、健康づくりに取り組んでいる立場からの実践報告をお願いし、普及・拡大を目指し、県下3ブロックで開催予定でしたが、中央ブロックは新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止し、県北・県南2ブロックでの開催となりました。

(ブロック別「健康づくり講演会」)

6月19日	中央ブロック：熊本市地区（新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止）
11月9日	県北ブロック：山鹿市地区
11月18日	県南ブロック：天草地区

③ 健康づくりリーダー等講習会・研修会

ニュースポーツやウォーキング等の実技指導を中心にした講習会や健康づくりにかかわる指導者を中心に事業の目的に沿った講演会（医師、健康運動指導士）を開催予定でしたが、講演会については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止しました。

また、ニュースポーツの公式ワナゲを普及させるため、ワナゲセットを購入し、希望老連等に貸し出せるようにしました。

併せて、実技研修会用に血圧計・救急キットを整備しました。

(健康づくりリーダー等養成講習会・研修会)

10月29日	熊本県立総合体育館（中体育室） ○「ニュースポーツ」・「ノルディック・ウォーキング」についての実技講習会等
12月10日	熊本市民会館（大会議室） ○「高齢者の口腔機能向上による健康づくり」・「フレイル予防のための運動について」講演会（新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止）

2 地域支え合い活動の推進（公2）

（1）在宅福祉を支える友愛活動の推進

元気な高齢者が地域の一人暮らしや寝たきりの高齢者等の家庭を訪問し、話し相手や簡単な生活支援等の活動を実践するシルバーヘルパー及び2年の実務経験者を対象にしたシルバーヘルパー指導者の養成講習会を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて例年どおりの開催はできませんでした。

しかし、三密を避ける等感染防止対策を行なったうえで開催可能な地域で講習会を実施し、友愛活動の推進に取り組みました。

（令和2年度 シルバーヘルパー養成講習会）

	養成講習会	指導者養成講習会
受講者数	212人	138人
延べ受講者数	47,117人	5,286人

（2）地域の安全・安心の取り組みと社会奉仕の日の取り組み（地域支え合い活動に関する県老連から市町村老連への取り組みの呼びかけ）

① 地域の子ども見守り活動

県内各地で取り組まれている登下校時の見守りパトロールに継続して取り組みました。

② 防犯・消費者被害・振り込め詐欺の被害防止活動等

振り込め詐欺に代表されるように高齢者を狙った悪質業者の被害に遭わないよう行政（消費生活センター等）や警察との情報の共有に取り組みました。

③ 災害等緊急時の対応

高齢者や社会的弱者への災害緊急時の連絡や避難体制について、自治会や町内会といった団体との連携に努めました。

④ 社会奉仕の日の取り組み

「老人の日・老人週間（9月15日～9月21日）」の期間中、特に9月20日の老人クラブ全国一斉「社会奉仕の日」に、環境美化活動等に取り組みました。

3 活動活性化に向けた取り組み（公3）

（1）広報活動

- ① 広報委員会を4月と10月に開催し、「県老連だより」を7月と1月に刊行しました。
- ② 元気老人クラブ活動広報推進事業

県からの補助を受けて実施する、活発・先進的なクラブ活動を行っている老人クラブの事例紹介と外部講師による今後の老人クラブ活動の方向性に係る研修会については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて9月実施を12月に延期しましたが、感染拡大が収束せず結局中止しました。

その代替として、新しい生活様式の中で会員が楽しく健康に活動する参考とするため、「シニアのためのおうち時間を楽しく過ごす知恵」（東京大学高齢者社会総合研究機構作成。）を刊行し、また、会員加入勧誘のグッズとして案内リーフレットとクリアファイルを作成し、各市町村老連・支部等へ配付しました。

（2）単位老人クラブ調査事業

単位老人クラブの組織実態について調査し、地域活動の基礎資料となる「老人クラブ名簿」を200部作成しました。

（3）老人クラブ大会及び各種表彰の実施

- ① 第36回熊本県老人クラブ大会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止しました。
- ② 老人クラブの育成発展に功績のあった個人及び団体への表彰を行いました。
- ③ 老人週間において95歳になった老人クラブ会員に寿詞贈呈を行いました。

（4）老人クラブリーダーの育成等

- ① 単位老人クラブ新任会長及び女性リーダー研修会

老人クラブの基礎的な活動や組織の在り方についての講話等を行う各市・郡老連の新任の単位老人クラブ会長や女性リーダーを対象とした研修会については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、ほとんどが開催中止となりました。

しかし、一部の老連において、会場施設管理者とも連携し、可能な限りでの感染防止策をとりながら実施していただきました。

なお、希望のあった老連には、資料のみ送付しました。

（5）行政や団体との連携強化の推進（活動活性化に関する県老連から市町村老連への取り組みの呼びかけ）

- ① 市町村行政と定期的な協議の機会設定

各市町村老連において、市町村行政との「定期的な協議の場」を設けるとともに、老人クラブ活動予算の協議や高齢者福祉行政と老人クラブ活動の調整を図るための「要望書」を作成し、行政との連携に取り組みました。

- ② 地域ネットワークへの積極的な参加
地域の中で安心・安全に暮らしていくために、市町村社協や自治会をはじめ地域にあるネットワークと連携を取りながら活動に参加するよう呼びかけました。

4 被災者支援及び復興活動の推進（公4）

(1) 被災者支援及び震災復興関連事業

- ① 熊本地震救援拠金を原資として被災市町村老連が行う震災復興関連事業並びに非被災市町村老連が行う被災市町村老連復興支援事業に、関係市町村に取り組んでいただきました。
- ② 平成28年熊本地震及び令和2年7月豪雨災害において、多くの老人クラブ会員が被災していることを鑑み、老人クラブ会員に対する災害準備啓発のため、「まずは自らの災害準備」（地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所作成）を刊行し、単老及び市町村老連へ配付しました。

(2) 募金活動の実施

令和2年7月豪雨災害の被災地に対する義援金の募集を行い、県外老連からの義援金も含め、特に被害の大きかった県南地域を中心とした各老連に対して、被害状況に応じた配分額を伝達しました。

Ⅲ 収益事業

1 指定旅館・ホテル等及び図書斡旋（収1）

(1) 指定旅館・ホテル等収入

会員の研修や旅行等福利厚生に資するため、県老連指定制度を設け、安心して活用できる場（旅館・ホテル等）を提供する趣旨で実施しています。令和2年度は、旅館・ホテル等からの申し出を受け、県内外合わせて40件の旅館・ホテル等を理事会に諮り指定しました。また、「指定旅館のご案内」を作成して各単老に配付し、老人クラブ名簿や年2回発行の県老連だよりに掲載して会員への周知を図りました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による旅館・ホテル等観光産業への影響を考慮して、指定料の減額及び納期限の延長を行いました。また、令和2年7月豪雨災害により休業や廃業等余儀なくされた指定旅館・ホテル等については、免除措置を行いました。加えて、抽出した老人クラブに対し、旅行に関するアンケートを実施して、指定旅館・ホテル等へ結果概要の提供を行いました。

(2) 図書斡旋収入

老人クラブ活動日誌や老人クラブ会計簿などを会員に斡旋し、その活用により老人クラブ活動の円滑な運営を図りました。

2 保険広告（収2）

（1）保険広告料収入

全老連が実施する傷害保険・賠償責任保険について、機関紙である「県老連だより」をはじめ、研修会・講習会等資料に広告を掲載して宣伝を行い、広告料収入を得ました。

3 共益（他1）

（1）郡・市町村老連事務担当者研修会（6月）

市町村老連事務局長や担当者を集め、高齢者福祉制度や県老連事業の活動方針の説明並びに事務連絡及び意見交換を行うことにしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止しました。

代替として、事務担当者用参考資料を作成し、関係者に配付しました。

IV 会議及び研修会

1 役員会等

- （1）総会（5月29日：提案書による決議の省略）
- （2）理事会（5月10日：提案書による決議の省略、3月9日）
- （3）正副会長会議（4月21日、7月28日、2月19日）
- （4）監査（4月21日）
- （5）女性委員会（5月：延期→9月28日開催、2月25日：中止）
- （6）友愛活動活性化委員会（5月：延期→9月28日開催、2月25日：中止）
- （7）活動積立金管理運営委員会（1月26日：書面協議）
- （8）広報委員会（4月27日：中止、10月2日開催）

2 全国及び九州ブロック会議及び研修会等

- （1）全国老人クラブ連合会理事会・評議員会（東京都：中止）
- （2）九州ブロック老人クラブリーダー研修会（熊本県：中止）
- （3）都道府県・指定都市老連事務局長会議（東京都：中止）
- （4）九州各県・指定都市老連事務局長会議（福岡市：書面協議）
- （5）活動推進員等職員セミナー（東京都：中止）
- （6）第33回全国健康福祉祭岐阜大会（岐阜県：中止）
- （7）第49回全国老人クラブ大会（山形県：中止）
- （8）高齢者の健康づくり・生活支援セミナー（東京都：中止）
- （9）都道府県・指定都市老連代表者会議（東京都：WEB会議）
- （10）九州各県・指定都市老人クラブ連合会連絡協議会（熊本県：書面協議）